

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部
証券コード	4462
公告方法	電子公告により行う。 なお、電子公告は、当社のホームページに掲載し ており、そのアドレスは次のとおりです。 <a href="http://www.unicon.co.jp/">http://www.unicon.co.jp/</a>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

インターネットホームページアドレス  
<http://www.unicon.co.jp/>



# 第74期

## 報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

石原薬品株式会社

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成24年3月31日をもって、第74期の決算を終了いたしましたので、ここにその事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えできますよう、業績の向上に全力を傾注する所存でございますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 竹森 莞爾

## 事業の概況

当期におけるわが国経済は、東日本大震災や原発事故の影響から徐々に回復が進んできましたが、欧州債務懸念からくる世界経済の減速、円高の進行、タイの洪水による生産への影響等により減速し混迷の度合いを深めてまいりました。その後の復興需要の高まりや円高の緩和を支えに経済活動は落ち着きを取り戻したものの、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、売上高は、15,523百万円（前年比9.2%増）、営業利益は、679百万円（前年比26.4%減）、経常利益は736百万円（前年比22.2%減）となり、投資有価証券評価損の計上により、当期純利益は、373百万円（前年比18.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

### （電子関連分野）

電子関連分野が対応する電子部品業界は、パソコン、薄型テレビなどデジタル機器の販売の低迷を受け、関連する電子デバイスの出荷減少や価格下落などで低迷する中、スマートフォンやタブレット端末向けの部品は市場が拡大し伸びを示しました。このような状況の中、電子関連分野の売上高は、9,587百万円（前年比16.0%増）となりました。

#### ア. 金属表面処理剤及び機器等

金属表面処理剤の国内市場は、ユーザーの海外工場移管や薄型テレビ等の需要低迷により、対応する電子部品用外装めっき液の販売は低調に推移しました。一方、海外市場は、半導体パッケージのリードレス化が加速する中、スマートフォンに搭載する半導体パッケージ向けのウエハーバンプ用めっき液は、スマートフォンの急速な普及により韓国、台湾のユーザーを中心に販売が大きく伸びを示しました。また、化成処理液自動管理装置及び試薬もスマートフォン、タブレット端末に関連するプリント基板やタッチパネルメーカー向けに自動管理装置の販売は好調に推移しました。この結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、8,343百万円（前年比23.2%増）となりました。

#### イ. 電子材料

電子材料のニッケル超微粉は、需要先のセラミックコンデンサの生産が伸び悩み、納入数量減と販売単価下落もあり販売は低調に推移しました。また、機能材料加工品は対応する半導体製造装置向け、液晶製造装置向けの部品需要とともに低調に推移しました。この結果、

電子材料の売上高は、1,244百万円（前年比16.7%減）となりました。

#### （自動車用品分野）

自動車用品分野は、ガソリンスタンドの統廃合によるスタンドの減少、事故率の低下、補修に対する価値観の変化等で自動車ケミカル品の市場規模の縮小が続いておりますが、エアコンフィルター交換作業に合わせたエアコン洗浄の同時施工ビジネスの提案・促進により、取り組むディーラーが増え、エアコン洗浄剤の販売が大幅に伸びたほか、補修用コンパウンドの新製品も好評を得て大幅に伸びました。ただ、カーメーカー向けの一部のケミカル品の減少等があり、自動車用品分野の売上高は、1,601百万円（前年比1.4%増）となりました。

#### （工業薬品分野）

工業薬品分野が対応する鉄鋼業界は、前半、好調であった中国、アセアン向け特殊鋼、高級鋼の輸出は、後半に入り中国の景気減速、供給過剰、市況軟化、円高進行等で採算性が悪化し減少傾向となり、内需では自動車向けなど震災後の生産回復による需要の回復も見られたものの全般として低調に推移しました。これらの状況を受け、特殊鋼用薬剤は伸びましたが一般薬剤は使用量減となり、また、化学業界向けの塩ビ用触媒も海外向けが円高により大幅に減少しました。この結果、工業薬品分野の売上高は、4,333百万円（前年比0.7%減）となりました。

## 対処すべき課題

当社は、4つの事業をバランスよく展開し、安定的な業績の向上を目指しております。当面の全般及び各事業分野での課題は、次のとおりであります。

#### （全般）

- ① 金属ナノ粒子等新規電子材料を第5の事業の柱として立ち上げるため開発設備の拡充及び量産化のための新工場建設、機械等に設備投資し事業化を加速する。併せて既存事業の安定的な生産体制の維持のため生産場所の分散及び生産能力の増強を図っていく。
- ② グローバル化による事業の海外展開に対応し、海外拠点の拡充と対応要員の語学力向上に向けた語学留学制度を実施し人材育成を促進する。
- ③ 地震等の自然災害を含めた様々な事業のリスクに対して、リスクマネジメントの推進、事業継続計画（BCP）の見直し、継続的な改善を進め更なる危機管理体制の強化を図る。

#### （各事業分野）

- ① 電子関連分野…中長期的に成長が見込まれる分野であり、継続的に研究開発投資を行い新製品開発、市場導入を積極的に進める。
  - ア. 金属表面処理剤及び機器等
    - ・金属表面処理剤
      - 電子機器等の小型化に伴い電子部品は小さくなり、材料や実装方法が変わり、それに伴いめっき特性が変わることから部品用途・材質に適した各種のめっき液の開発、市場導入が不可欠になっている。当社は、研究開発体制を充実させ、IC、チップ部品等のめっき液、ウエハーバンプ用めっき液、TAB、COF対応のめっき液など各種に対応しためっき液を開発し市場に導入している。製品開発力・技術サポート力を基盤にユーザーの生産性向上に貢献し、売上拡大と新規ユーザーの獲得、市場でのシェアアップを図っていく。
    - ・機器等
      - プリント基板、フラットパネルの製造工程で使用する化成処理液の自動管理装置について、ユーザーの生産コスト低減、工程改善による生産合理化装置やユーザーの要求仕様による装置の開発を継続し、導入促進を働きかけていくとともに、当社技術の応用、展開が可能な新分野の市場開拓を積極的に促進していく。
  - イ. 電子材料
    - ・ニッケル超微粉
      - ユーザーとメーカーとの連携を強化し、安定的に供給できる体制を整備していく。
    - ・機能材料加工品
      - 短納期対応及び素材の特色を広くPRし、医療用機器、半導体製造装置、液晶製造装置向けの部品需要のみならず、新たな分野、販売先からの受注に結び付けられるよう加工技術の向上、顧客情報の管理強化、営業力の強化を図っていく。
  - ウ. 新規電子材料
    - ナノ金属を中心とした新規電子材料の開発及び市場開拓等の事業化を図っていく。
- ② 自動車用品分野…業務用自動車ケミカルを中心に環境等をテーマにした商品開発、市場開拓を推進し、店内シェアアップを目指し事業の収益率を改善していく。
- ③ 工業薬品分野…鉄鋼関連得意先グループとの取引拡大はもとより、電子関連分野、環境・公共事業体分野での商品開発、市場開拓を推進し更なる売上拡大を図っていく。

株主の皆様のご協力に厚くお礼を申し上げますとともに、今後のご支援とご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成24年3月31日)	前 期 (平成23年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,657,477	8,979,638
固定資産	9,464,921	7,967,425
資 産 合 計	17,122,398	16,947,064
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,171,572	3,101,321
固定負債	491,998	526,980
負 債 合 計	3,663,570	3,628,301
<b>純資産の部</b>		
株主資本	13,658,694	13,546,289
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,741,909	1,741,909
利益剰余金	10,469,763	10,357,183
自己株式	△ 259	△ 85
評価・換算差額等	△ 199,866	△ 227,526
純 資 産 合 計	13,458,827	13,318,762
負債・純資産合計	17,122,398	16,947,064

## 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	前 期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
売上高	15,523,085	14,209,024
売上原価	11,782,945	10,362,560
売上総利益	3,740,140	3,846,463
販売費及び一般管理費	3,060,814	2,923,663
営業利益	679,325	922,800
営業外収益	91,339	86,720
営業外費用	34,370	63,634
経常利益	736,294	945,887
特別利益	67	532
特別損失	104,036	301,128
税引前当期純利益	632,325	645,291
法人税、住民税及び事業税	219,122	213,767
法人税等調整額	39,513	△ 26,825
当期純利益	373,689	458,349

## 株主資本等変動計算書 (要旨)

(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) (単位：千円)

項 目	株主資本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計		
当期首残高	1,447,280	1,741,909	10,357,183	△ 85	13,546,289	△ 227,526	13,318,762
当期変動額							
別途積立金の積立			—		—		—
剰余金の配当			△ 261,110		△ 261,110		△ 261,110
当期純利益			373,689		373,689		373,689
自己株式の取得				△ 174	△ 174		△ 174
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						27,660	27,660
当期変動額合計	—	—	112,579	△ 174	112,404	27,660	140,065
当期末残高	1,447,280	1,741,909	10,469,763	△ 259	13,658,694	△ 199,866	13,458,827

## キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	期 別	
	当 期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	前 期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	951,029	849,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,760,987	△ 696,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 340,883	262,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,184	△ 16,712
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,153,025	398,364
現金及び現金同等物の期首残高	4,136,687	3,738,322
現金及び現金同等物の期末残高	2,983,662	4,136,687

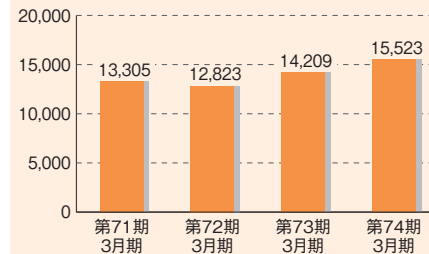
## セグメント別売上高

（単位：百万円）

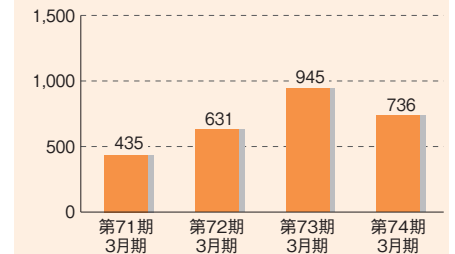
セグメント	期 別		当 期		前 期	
			(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
金属表面処理剤及び機器等	8,343	53.8%	6,769	47.7%		
電子材料	1,244	8.0	1,493	10.5		
電子関連分野計	9,587	61.8	8,263	58.2		
自動車用化学製品等	1,601	10.3	1,579	11.1		
工業薬品	4,333	27.9	4,366	30.7		
総 計	15,523	100.0	14,209	100.0		

## 財産及び損益の推移

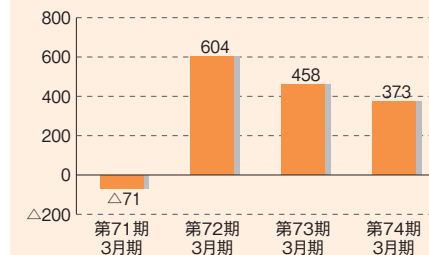
●売上高（百万円）



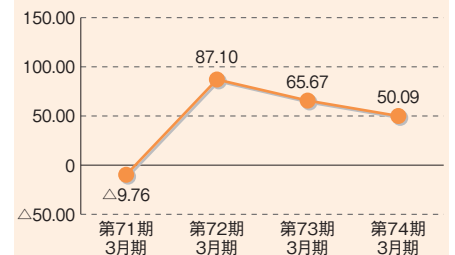
●経常利益（百万円）



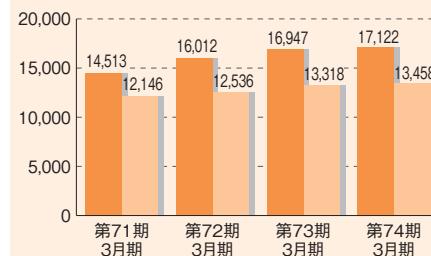
●当期純利益又は純損失(△)（百万円）



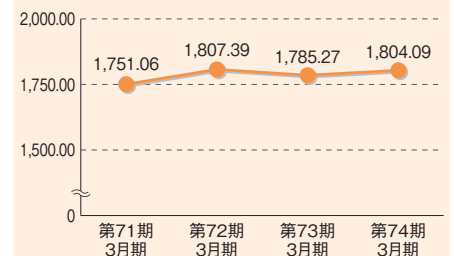
●1株当たり当期純利益又は純損失(△)（円）



●総資産・純資産（百万円）



●1株当たり純資産額（円）



## 会社の概況 (平成24年3月31日現在)

### ■ 会社概要

商号	石原薬品株式会社 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD.
創業	明治33年4月15日
設立	昭和14年3月3日
資本金	14億4千7百28万円
従業員数	190名

### 主要な事業内容

区分	主要品目
金属表面処理剤及び機器等	錫及びハンダめっき液、化成処理液自動管理装置等
電子材料	電子材料、セラミックス、エンジニアリングプラスチック等
自動車用化学製品等	つや出し剤、塗装補修コンパウンド、洗浄剤、消臭・除菌剤、溶接スパッター付着防止剤等
工業薬品	酸、アルカリ、触媒、無機化合物等

### ■ 事業所

本社	神戸市兵庫区西柳原町5番26号
東京支店	東京都台東区台東2丁目26番11号
滋賀工場	滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1

### ■ 役員

代表取締役社長	竹 森 莞 爾
代表取締役専務取締役	時 澤 元 一
常務取締役	松 村 伊 佐 雄
常務取締役	浅 野 真 司
常務取締役	酒 井 保 幸
取締役	大 竹 祥 司
取締役	工 藤 富 雄
常勤監査役	福 田 英 章
常勤監査役	山 畠 一 延
監査役	菱 田 正 登
監査役	岡 本 茂 登

### ■ 株式の状況

① 発行可能株式総数	15,650,000株
② 発行済株式総数	7,460,440株
③ 株主数	1,964名
④ 単元株式数	100株
⑤ 大株主の状況 (上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
石原薬品取引先持株会	498	6.6
日本生命保険相互会社	379	5.0
株式会社三井住友銀行	346	4.6
石原薬品従業員持株会	245	3.2
株式会社みずほコーポレート銀行	223	2.9
株式会社池田泉州銀行	219	2.9
第一生命保険株式会社	211	2.8
大阪中小企業投資育成株式会社	209	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	158	2.1
川 村 邦 子	154	2.0

(注) 持株比率は自己株式(256株)を除いて計算しております。

### 株主ご優待情報

弊社では、株主の皆様のご厚情に対するささやかな感謝のしるしといたしまして、株主優待制度を実施しております。

- 対象 決算期日(3月末日)時点の当社株主名簿に記載された500株以上保有の株主の皆様
- 内容 株主総会終了後(6月末~7月初旬)、次の基準の保有株式数に応じて、グルメギフトを贈呈させていただきます。

保有株式数	優待内容
500株以上1,000株未満	グルメギフト(3,000円相当)
1,000株以上	グルメギフト(10,000円相当)